

令和4年度3月定例記者会見 次第

日時：3月24日（金）13時30分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK福岡放送局、時事通信社

〔糸島市〕市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

1 市長あいさつ

2 案件

（1）市長発表

- ①再エネの自家消費を促進
～蓄電池設置への補助を開始～

環境政策課

- ②子育てしやすい環境整備へ 公園遊具設置を推進

都市施設課

（2）その他

- ①『保育園の先生になりたいな！を応援するブック』完成

子ども課

3 懇談・その他

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：4月25日（火）13時30分～

場所：糸島市役所 庁議室

創エネルギーのまち・いとしま推進事業をリニューアル 再エネの自家消費を促進～蓄電池設置への補助を開始～

糸島市では、瑞梅寺ダム・白糸の滝にある小水力発電所の売電収入を基金として積み立て、令和4年度まで家庭用の太陽光発電設備や燃料電池の設置に「創エネルギーのまち・いとしま推進補助金」を交付し、再生可能エネルギーの利用を推進してきました。

事業の開始から3年を経過したこと、令和4年度に環境省交付金による「脱炭素推進重点対策加速化事業（太陽光・蓄電池に最大76万円補助）」を始めたことにより、これからの基金の使いみちを変更し、蓄電池設置補助事業（令和5～7年度の実施計画事業）にリニューアルすることにしました。

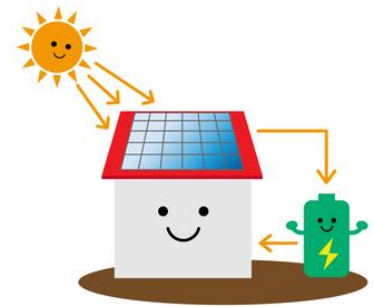
■補助の対象を蓄電池に変更した理由

東日本大震災の後、固定価格買取制度（FIT）により、全国で太陽光発電が急速に広がりましたが、家庭用太陽光発電の買取期間は10年であるため、期間が終了する家庭が増えています。

期間終了後、各家庭は小売電力事業者と契約を結んで売電を続けられますが、期間中に比べるととても安価です。そのため、売電せずに昼間に余った電力を蓄電池に貯めて夜間に使う方が、化石燃料でつくられた電力や電気料金を減らしつつ、家庭から排出される二酸化炭素の量を減らすことができ、地球環境と家計にやさしくなります。

また、停電が発生しても電気を使うことができるため、災害に強いまちづくりに役立つほか、夜間に発電できない・天気に左右されて発電が安定しないなどの太陽光発電の欠点を補うことができます。

このように、カーボンニュートラル（脱炭素）の推進だけでなく、災害時のレジリエンス（回復力）の強化、エネルギーの安定化にも貢献できるため、補助の対象を蓄電池に変更しました。



■補助制度の概要（詳細は4月1日から市HPで公開）

【募集開始】 令和5年4月3日（月）から

【申請受付】 市が定める申請書に必要書類を添えて、市環境政策課へ提出

【補助金額】 一律10万円（予算額に到達次第、募集終了。50件を予定）

- 【おもな要件】
- ①自身が所有し住んでいる戸建住宅に蓄電池（定置用）を設置した人
 - ②太陽光発電（10kw未満）を設置済、または蓄電池と同時に設置する戸建住宅（発電した電気を貯め、日ごろから充放電を繰り返すこと）
 - ③令和5年4月1日以降に蓄電池を設置する契約を結んだ人
 - ④市税を滞納していない人

※脱炭素推進重点対策加速化事業と両方の補助を受けることはできません。

【問い合わせ】 糸島市 生活環境部 環境政策課 環境・エネルギー係 担当：矢野

電話番号：332-2068 メール：kankyo@city.itoshima.lg.jp

子育てしやすい環境整備へ 公園遊具設置を推進

市では、「ワンランク上の安心づくり」と「ワンランク上の豊かさづくり」を進めるために、新たに公園遊具の設置を行いました。

○公園遊具設置事業

都市公園のうち駐車場やトイレ等の施設が整った**中学校区単位の拠点的な公園に**、地域の役員、子ども会、グランドゴルフ利用者などの意見を取り入れ、遊具を設置しています。

事業費 700万円/年

事業計画 令和元年度 福吉しおさい公園

令和2年度 前原北公園

令和3年度 波多江コミュニティ広場

令和4年度 二丈コミュニティプラザ

令和5年度 芥屋の大門公園

(予定)



大型複合遊具

【令和4年度】

設置場所	遊具等	供用開始日
二丈コミュニティプラザ (二丈深江)	大型複合遊具1基、 ネット遊具3基、ベンチ6基	令和5年3月17日



整備前



整備後



ネット遊具

【問い合わせ先】

建設都市部 都市施設課 施設管理係 担当：内山

TEL：直通：332-2078 内線：1734

メール：toshishisetsu@city.itoshima.lg.jp

○子育て環境遊具設置事業

就学前の子どもたちを対象とした遊具を**小学校区単位**で地域や子育て世代の意見を取り入れて、遊具の種類や設置場所などを決定し、遊具を設置しています。

事業費 400万円/校区

事業計画 令和4年度 桜野校区、前原南校区
 令和5年度(予定) 加布里校区、怡土校区、可也校区、一貴山校区
 令和6年度(予定) 東風校区、長糸校区、福吉校区、前原校区
 令和7年度(予定) 波多江校区、南風校区、雷山校区、深江校区、引津校区

【令和4年度】※九星飲料工業(株)より寄付をいただいて事業を実施しています。

	設置場所	遊具等	供用開始日
桜野校区	桜野コミュニティセンター	複合遊具 1 基、スイング遊具 4 基	令和 5 年 3 月 31 日
前原南校区	笹山公園	ブランコ 1 基	令和 5 年 3 月 15 日
	桃山公園	ブランコ 1 基	
	篠原公園	スイング遊具 2 基	
	伊都の杜第 1 公園	インクルーシブ遊具(砂場)1 基、スイング遊具 2 基	



糸島市保育協会作成 現役保育士の声も収録した 「保育園の先生になりたいな！を応援するブック」 が完成しました。

糸島市保育協会では、市の保育人材確保事業補助金を活用し、啓発冊子『保育園の先生になりたいな！を応援するブック』を作成しました。

現在、本市では、人口増加などにより、待機児童の発生が課題となっています。

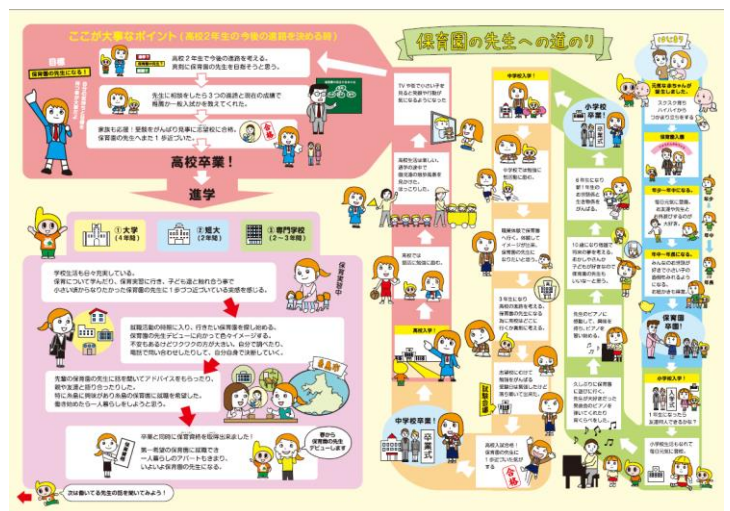
この冊子は、進路を考える年齢の子どもたちに向けて、現役保育士が子どもと関わる仕事の魅力や楽しさを伝えることで、興味や憧れを抱いてもらいたいと願い、作成されたものです。

一人でも多くの子どもたちに、「保育園の先生になりたい！」と思ってもらえれば幸いです。



「保育園の先生になりたいな！ を応援するブック」

- 仕様：フルカラー8ページ、A4版
- 数量：10,000部
- 配布場所：市内小中学校
- 冊子の特徴：自分が将来何になりたいか、という選択肢の視野に保育士が入るよう、保育士として就職するまでの道のりを、イラストを交え、分かりやすく説明。現役保育士のインタビューを載せ、保育士という仕事の楽しさややりがいを伝えています。



【問い合わせ先】

●冊子について

糸島市保育協会（事務局：一貴山保育園内） 電話 (325) 1328

●補助事業について

糸島市子ども教育部子ども課 電話 (332) 2074